

令和5(2023)年度 学校評価総括表

評価項目	具体的方策・評価指標	具体的な成果と課題(評価の分析)
(1) 児童を主体に考えた教育の推進	<p>委員会や学校行事は、児童が主体的に取り組めるよう工夫して実施する。</p> <p>お互いを認め合いつながり合うなかま集団をつくるため、日常的な活動に加え学期に1回程度全校集会等の活動に取り組む。</p> <p>指導計画の作成を通じ児童理解を深め、全員がわかる授業づくりを目指し、各教員1本の公開授業を行う。</p> <p>支援を要する児童の実態把握に努め、個に応じた支援を行うだけでなく、特別支援学級においては児童が主体的に活動できる自立活動を推進する。</p>	<p>【委員会】                      ・常時活動を基本としながら、学校生活が明るく楽しくなるよう活動した。                      計画委…募金活動(毎学期)・学校・学級目標づくり(7月)                      体育委…ドッジボール大会(7月)・玉入れ集会(1月) 環境委…美化ポスター(7月)                      図書委…おはなし会(7月)・しおりプレゼント(11月)・読み聞かせ(1月)など                      ・代表委員会話し合われたことに基づいて「児童会集会活動」を実施した。                      1学期…1年生を迎える会(6/7) 3学期…6年生を送る会(3/1予定)</p> <p>【学校行事】                      ・山の辺シアター(6月)…能楽協会の方々をお招きし、能楽教室を全学年で実施した。                      ・運動会(9月)…3年ぶりに全員参加で実施し、高学年による係活動や応援も復活した。                      ・ふれあい体験教室(11月)…児童の興味・関心を考え、選択教室と学年教室を実施した。                      ・かけ足(12月)…がんばりカードや納会でのタイム計測で児童の意欲を高めた。                      ・大縄大会(1月～2月)…みんなで協力し跳ぶ回数を増やすことで児童の意欲を高めた。</p> <p>・人権放送…全校朝会にて教員の講話や人権がテーマの絵本の読み聞かせを行いました。                      ・人権掲示…職員室前廊下に毎月テーマを決めて掲示しています。                      ・人権集会…各学年が人権をテーマに歌や手話や劇などをTV放送で発表しました。(12/18)                      ・人権研修…なかま集団作りの研修後、授業作りの研修を行い、後に授業実践しました。</p> <p>・研究授業…2学期に2年2組と3年2組で行いました。                      ・公開授業…11月～2月に全学級が実施する予定です。</p> <p>・学習園の野菜販売(6月・9月) ・ホースセラピー(6月・11月・3月)                      ・アートセラピー(2月) ・音読発表会(毎学期)</p>
(2) 新たな時代を生きる児童のための教育の推進	<p>学年の実態に応じ、chromebookを効果的に活用する。</p> <p>実生活とSDGsを結び付けた内容を総合や社会の授業でとりあげ、新聞や発表等により深め広げられる取組を行う。</p>	<p>4年生以上は持ち帰り、連絡や欠席時のオンライン授業に使っています。活用方法は、写真撮影・タイピング練習・インターネットや動画視聴の他、学年が上がると学習ソフト(ロイロノート等)を用いて、自分の意見をまとめたり友だちと意見交流したりしています。</p> <p>・3～4年「自転車交通安全教室」(7/11) ※PTAが企画し学校行事として行った。                      ・4年「手話教室」(10/10・10/13) ・6年「ツーリストシッパ授業」(10/13)                      ・5～6年「アスリート派遣授業」(10/25) ・5年「捨てられる野菜の絵の具」(11/21)                      ・4～6年「携帯スマホ教室」(11/30) ・6年「短歌教室」(12/1・2/27)                      ・3年「しめ縄教室」(12/14) ※公民館が主催する行事に全員で参加した。</p>
(3) 読むこと・書くことに焦点化した学力向上の推進	<p>朝の基礎学習タイムの時間を利用し、よむYomuワークシート等の短い教材文章(新聞記事・物語など)を月1回以上活用し、読解力の基礎学力向上を目指す。</p> <p>書く楽しさを味わえるように、自由作文だけでなくテーマ作文や友だちとの日記交流など、工夫を取り入れた指導を行う。</p> <p>おすすめの本を紹介したり、しおりプレゼントを実施したりすることで学校図書館の利用を促し、年間5000冊以上の貸し出しを行う。</p>	<p>週に1回朝学習の時間に5・6年児童が取り組んだ。                      【手順】①黙読 ②一人で問題に取り組む ③範読 ④答え合わせと解説</p> <p>どの学年も週一回程度は日記指導を行い、よい日記の掲示や、班日記の中でよい書き方に触れたり書くことの苦手意識を除いたりするなど、工夫して取り組んだ。また、どこで「だれと・どのよう」に書く(1年)、主語と述語を意識して書く(2年)、ミニ作文を学習に取り入れる(4年)など、児童の実態に応じて担任が各自工夫し取り組んだ。</p> <p>毎日の読書タイムや各学級週2時間の図書室配当にて読書の時間を確保した。読み聞かせボランティアさんに各学級月一回、読み聞かせを行ってもらい、その時に読まれた本は図書室に展示し、児童が読めるようにした。読み聞かせ後には、図書室の環境整備等を行ってもらった。また、図書委員が上手に読み聞かせできるように、11月に読み聞かせボランティアさんから指導を受けた。(4月～1月の貸出冊数…約5450冊)</p>
(4) 地域や社会とのつながりを大切にした教育の推進	<p>ふれあい体験教室では、地域コーディネーターと連携を行い、地域に住む様々な方ならではの学習内容・実施方法を充実させる。また、マイガッコウ活動をはじめ地域や関係機関の方々の協力を得た活動を年5回以上実施する。</p> <p>中学校と連携し、オープンスクール等の行事を活用しながら、子どもたちが中学校の様子を知り中学校生活に不安なく期待をもって進学できるようにする。</p> <p>子どもたちが安心してすごせる環境をつくるために、関係機関と連絡を取りあうだけでなく定期的な連絡会・合同研修を実施し、児童の共通理解をはかる。</p> <p>学校ホームページで、学校行事や各学年の様子を定期的に発信し、年間50回以上の更新を行う。</p>	<p>・ふれあい体験教室(11/2)                      選択教室(午前80分間の全16教室を低中高ごとの縦割りで実施)                      学年教室(午後60分間の全5教室を学年別で実施) ※1・2年は合同                      ・マイガッコウ活動                      「プール掃除」(5/29 ※雨天中止) 「運動場凍結防止作業」(1/31) ボランティア                      「ふれあい体験学習」(11/2) 「大縄大会」(1～2月) スタッフボランティア                      ・PTA活動                      1年生保護者給食体験・食育勉強会(6/1) たため池救命ブイ取り付け(7/14)                      こども110番の家の旗165か所の確認・交換(1学期) 制服リユース(11/2) など</p> <p>スポーツテストに北中学校の体育教師が参加した。(5/26)                      北中オープンスクールを実施し、授業と部活動を体験した。(11/7)</p> <p>・養徳院との連携                      合同研修(4/12) 連絡会(6/28・11/13) 施設見学・合同研修(8/21)                      ・北中校区小中連携推進会議(北中・樺小・丹小)                      合同研修(8/25) 北中オープンスクール(11/7)                      ・北中ブロック人権教育推進事業(北中・樺小・丹小・山幼・樺幼・北保・中保・丹南こ)                      公開授業・保育 ※今年度は、丹小(9/8) 山幼(10/4)が実施した。</p> <p>「ホームページ更新予定」を4月に決め計画的に更新したが、学期中は多忙なためどうしても後回しになり、更新が滞ったり長期休みに集中したりする傾向があった。                      1月末現在の更新状況…52回</p>
(5) 幼児期の保育・教育との連携	<p>入学してくる子どもたちの育ちについて幼稚園・こども園・保育所と小学校の職員間で情報を共有したり、年長児が小学校生活を知る機会をつくらせたりし、小学校生活がスムーズにスタートできる取組を進める。</p>	<p>山幼・北保・中保との連携                      4月…出前授業(山幼) 8月…保育体験(北保・中保)                      9月…作品展・運動会練習見学(山幼) 11月…給食体験(山幼) 音楽交流会(山幼・北保)                      12月…合同研修(山幼) 2月…体験入学(山幼・北保・中保)</p>
(6) 教職員の働き方改革の推進	<p>校務支援システムの掲示板等を活用し、終礼は週1回、職員会議は1時間以内で実施する。そして、毎週水曜日は管理職を含め全員18時までに退勤する。</p> <p>出退勤状況記録表を活用し、教職員の超過勤務の改善を図る。</p> <p>ホームページの委員会やクラブのページを集約し、教員の負担を軽減する。</p>	<p>校務支援システムが導入され、情報の周知がしやすくなった。終礼は毎週水曜日に実施し、検討が必要な案件や児童の情報などについて伝えた。ただ急に伝えたいことがある場合は、臨時的終礼を行います。職員会議は1時間以内で収まらないこともあったが、前日までに会議案件のデータを閲覧できるようにするなど、効率化を図った。毎週水曜日は18時退勤とし、まだ徹底はできていないが、意識して退勤するよう心がけた。</p> <p>出退勤記録表にて勤務時間外在校時間が月45時間・80時間を超えていないか確認した。                      4月13・3人(平均56時間) 5月12・1人(平均48時間) 6月14・2人(平均52時間)                      7月4・0人(平均33時間) 8月0・0人(平均6時間) 9月12・1人(平均44時間)                      10月8・2人(平均41時間) 11月9・2人(平均45時間) 12月6・0人(平均32時間)                      1月4・0人(平均33時間)</p> <p>「ホームページ更新予定」を作成し、より多くの教員で分担することで、個人の負担を減らすことができた。しかし、学期中は多忙なため、更新が長期休みに集中する傾向があった。</p>